

※この報告書の〈受講者の声〉までが、なごや環境大学のウェブサイト上に掲載されます。

様式 2
(2023年度)

事業実績報告書

講座番号	B-57	講座名	セントレアまるごとウォッチング2023
記載日		団体名・企業名	環境カウンセラー岡本明子

〈講座全体の概要〉(300字程度)

身近な生活と環境は関わりあっている。社会見学型講座であるセントレア講座では、国際空港での水際対策の重要性、困難さを伝え、自分たちの生活を顧みる機会とする。

グローバル化の光と影を考え、影の部分がなくそうと工夫を重ねる国の仕組みを知る。

飛行機は、島国日本にとっては必要なもの。空港関係者の環境配慮、安全確保への努力などを知り、理解を深める。

講 義：検疫所、環境省

見学+講義：税関、出入国在留管理庁、動物検疫所、植物防疫所、国際郵便局、航空局、航空気象台、中部国際空港株式会社、サンエイ(株)

コロナや緊急事態発生時への対応を、関係機関と事前打ち合わせを行うとともに、参加者に事前に通知した。



※写真1の説明



※写真2の説明

滑走路のすぐそばから飛行機の離発着を観察。

税関広報室の見学。水際対策関係機関の展示

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

・今年度も、無事、講座を終えることができ、ほっとしています。ご協力いただいた、講演・見学先の皆様、参加者の皆様に感謝いたします。

・この講座は、普通では入れない場所、身分証明書の提示が必要な場所の見学が多いため、申請には参加者の個人情報が必要となります。その扱いには、いつも神経を使います。また、水際対策の最前線であるため、感染症や各種事件などの影響を受けやすくはありますが、今年度は、すべて予定通り講座を開講することができました。

・今年度、予定外だったのは、セントレア島内循環バスの時刻が企画段階とは変更されたことです。朝夕以外のバスがなくなり、皆で片道4~5km歩くことになりました。想定以上に時間もかかり、見学先に予定をずらしてもらうなどの修正も必要でした。皆、歩きが達者な方々ばかりで助かりました。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

普通では入れないところでの講義や見学は、大変興味深かった。

このような組織があり、このような役割を果たしていることを初めて知った。

コロナという感染症の蔓延を経た今聞く講座は、実感が伴い、身に染みた。

水際対策の重要性を再認識した。